

依存症論

担当者 谷岡 一郎

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

依存症—特にギャンブル依存—について、基礎知識を修得する。

●講義の到達目標

ギャンブル依存を中心として、誰ともディベートできるようになる。

●講義計画

第1回：オリエンテーション／授業の進め方

第2回：ギャンブル依存の測定

第3回：他の依存との関係

第4回：社会的コスト①「経済」

第5回：社会的コスト②「心理」

第6回：パチンコと宝くじにはまる人々

第7回：依存症対策①「治療」

第8回：脳科学の話（ゲスト）

第9回：依存症対策②「政策」

第10回：インターネットの問題

第11回：原因論と因果モデル

第12回：IR法の取組み

第13回：治療現場にて（ゲスト）

第14回：レポート発表

第15回：レポート発表

●成績評価基準と方法

クリア条件は依存症に対し社会科学の立場からのアプローチができること。最終的には、授業での発言およびレポートを通じて総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

谷岡一郎『ギャンブルフィーヴァー』中央公論社、1996年（本体660円）

谷岡一郎・美原融編著『カジノ導入をめぐる諸問題〈3〉』大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2014年（本体5000円）
（授業でコピーを配付する）

●受講上の留意点

積極的参加を求む。